

ドロノキ

Populus suaveolens Fisch.

ヤナギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

河岸等に生える高木で、高さ約 30m、径 1.5m になる。葉は長さ 6～14cm、幅 3～10cm、表面は濃緑色で光沢があり、裏面は淡緑色。両面ともに脈上に細毛があるか、または無毛。縁は有毛で細鈍鋸歯がある。4～5月頃、葉に少し先立って花穂が開く。

生育を脅かす要因

生育地である河川の改修等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1989a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

マルバスミレ

Viola keiskei Miq.

スミレ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では生育地、個体数ともに少ない。

分 布

国内分布は、本州～九州。県内分布は、若狭町、敦賀市、大野市。

種の特徴

山地の半樹陰に生える。葉は円形～円心形、径 2～3 cm、花期がずむと大きくなる。全体に毛があるものとなないものがある。花は白色、唇弁に紫条がある。

生育を脅かす要因

環境の変化、植生遷移等。

参考文献 林弥栄・平野隆久（2013）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○										○	

トモエソウ

Hypericum ascyron L. subsp. *ascyron* var. *ascyron*

オトギリソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地に限られ、個体数も少ないうえに園芸採取の対象になりやすいために絶滅の危機にある。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では若狭町、越前市、勝山市、大野市に生育が確認されている。

種の特徴

山地の日当たりの良い湿った草地に生える多年生草本。茎は、高さ 50～130cm、直立し、分枝する。葉は茎に対生し、形は披針形で葉の基部は茎をなかば抱く。花期は 7～9 月で、径 5cm、花弁 5 個の大きな黄色の花を茎や枝の先につける。

生育を脅かす要因

道路工事、埋め立て等の開発で生育地の消失や生育環境の悪化が減少する要因となっている。また、花がきれいいため園芸採取の対象になりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○											○			○	○	